

議員提出議案第4号

特別支援学校や特別支援学級等への教員等の適切な配置に関する意見書
上記の議案を提出する。

令和5年7月5日

墨田区議会議長

福田 はるみ 様

提出者	墨田区議会議員	佐藤 篤
	同	たきざわ 正 宜
	同	大 門 しろう
	同	あ べ よしたけ
	同	おおこし 勝 広
	同	たかはしのりこ
	同	としま 剛
	同	しみず 良 平

特別支援学校や特別支援学級等への教員等の適切な配置に関する意見書

文部科学省の「令和4年度学校基本調査」によると、特別支援教育を受ける児童生徒は年々増加しており、この10年間で、特別支援学校の数は約11パーセント、児童生徒数は約14.3パーセントの増加が見られます。また、特別支援学級の数は1.6倍、児童生徒数は2.1倍に増加しています。さらに、通級による指導を受けている児童生徒数は約2.6倍に増えるなど、教育現場では新たな特別支援教育体制の整備が必要になっています。

このような状況に適切に対処するためには、特別支援学校や特別支援学級への専門的な知識や経験を持った教員等の増員が必要不可欠です。また今日、共生社会の形成に向けて、「障害者の権利に関する条約」に基づき、子どもたちの多様性を尊重するインクルーシブ教育システムの構築が求められており、そのためにも我が国の特別支援教育の更なる拡充が必要です。

よって、墨田区議会は、政府に対し、医療的ケアを含めた特別支援教育が必要な子どもの増加や、様々な障害の特性に応じた的確な教育を実現するため、特別支援学校や特別支援学級等への教員等の適切な配置に向けて、下記事項について財政措置を含めた特段の措置を講じるよう強く要望します。

記

- 1 障害のある児童生徒に対し、食事、排泄、教室移動の補助等、学校における日常生活動作の介助を行ったり、発達障害のある児童生徒に対し、学習活動上のサポート等を行う特別支援教育支援員の適切な配置への支援をすること。
- 2 保護者や関係機関に対する学校の窓口として、また、学校内の関係者や福祉・医療等の関係機関との連絡調整の役割を担い、子どもたちのニーズに合わせた支援をサポートする特別支援教育コーディネーターの適切な配置への支援をすること。
- 3 医療的ケアが必要な子どもや障害のある子どもへの支援を的確に実施するため、看護師、言語聴覚士（ST）、作業療法士（OT）、理学療法士（PT）等の専門家の適切な配置への支援をすること。
- 4 各学校でインクルーシブ教育を一体的に進めるため、担当の教員だけでなく、学校長等に対する指導や研修等を実施し、校内全体での取組を促進するため、特別支援学校のセンター的機能強化への支援をすること。
- 5 GIGAスクール構想により整備された一人1台の端末を、特別支援学校や特別支援学級において、授業はもとより、個々の特性や教育的ニーズに応じた支援ツールとして有効に活用するため、特別支援教育デジタル支援員（仮称）の配置への支援をすること。

6 特別支援学校教員の特別支援学校教諭免許状の取得率は87.2パーセントとなっており、特別支援学校における教育の質の向上の観点から、教職員への取得支援の強化や大学等における特別支援教育に関する科目の修得促進等、教職員に対する特別支援学校教諭免許状の取得への支援をすること。併せて、都道府県教育委員会が行う教育職員検定により免許状を授与する特別免許状制度の活用についても強力に推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

令和5年7月 日

墨田区議会議長名

財務大臣 }
文部科学大臣 } あて